

寺院：宮城県第12教区349番観音寺
 住所：宮城県石巻市釜谷西宮山21

寺院の被害	<ul style="list-style-type: none"> 津波により本堂、庫裡、山門、鐘楼が全壊した。
寺院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 寺院跡の近い場所（檀徒の土地）に、宗門より寄贈されたプレハブを設置し、仮本堂として檀務を行っている。（住職居住地借家より通っている） 寺院跡地には、犠牲になられた方がたの鎮魂と復興を願って、観音堂が建立（寄進）されている。
檀信徒の現状	<ul style="list-style-type: none"> 檀信徒の大半が被災し、多くの犠牲者を出している。また、生活を再建するために苦労を強いられている。 当初は、仮設住宅で生活している人が多かったが、市内や近郊の内陸地に自宅を再建し引越していく人が増えている。 居住地はほぼ把握している。 複数の檀家の離檀がある。
地域の現状	<ul style="list-style-type: none"> 寺院の所在する地域は、地域全体が津波で流出し、危険区域に指定されている。また、被災した大川小学校があるので、参拝に訪れる方がたが多いが、建築物は慰霊碑・観音像等の仏像のみで更地になって、手つかずの状態である。山沿いには桜の植樹が行われている。 墓地が整備され、新たに供養の場ができる。
復興の状況	<ul style="list-style-type: none"> 現状の仮本堂で継続、維持している状況。 再建の見通しは立っていない。 今後、集団移転の完了時期なども見据えながら検討していきたいと考えている。

(H25.8.9現在)



(撮影H25.11.4)